予定価格の公表は絶対にやめろ！

入札の件について

茂田 信三 議員

議員　予定価格の事前公表は何故やめないのか。また、新井土木(株)が、市発注の下水道工事で落札するという電話による情報があり、結果まさしくそのとおりであった。この工事では、5カ年の落札状況においても不自然と思われる結果が見られた。このような不適切な情報があった場合の対応を伺う。

総務部長　事後公表の方式では、規定の入札回数において予定価格に達しないなどの不落不調、適正工期の確保ができないという問題が発生した。また、電子入札の導入に合わせ一部の案件を段階的に事前・事後公表の方式を併用し、26年4月からすべての案件が事前公表となった。予定価格と設計図を参加者全員に公表することにより、それを上限に落札するため、他社よりも安く入札しようと努力するので、競争原理がはたらくと考える。事前公表の適否については、十分検討し、適切な対応を行う。

議員　前の総務部長の答弁では、予定価格を公表しないと、職員が入札価格を漏洩する恐れがあるということ。職員のモラルはないのか。競争の原理がはたらくというが、ほとんどが満額に近い落札である。建設業者へ余分に儲けさせる理由があるのか。効率の良い入札制度では差額を他に当てられる。この情報に関して副市長に確認したところ、業者への事情聴取、警察への届出を行ったとのこと。別に電話があったから100％談合だとは言えないが、真摯に受け止めなくてはいけない。我々の税金を無駄にすべきでない。競争原理を働かせるためにも、予定価格は絶対に公表してはならない。

一般質問 JOSOSHIGIKAIDAYORIJOSOSHIGIKAIDAYORIJOSOSHIGIKAIDAYORIJOSOSHIGIKAIDAYORI 一般質問

平成29年8月定例会議 審議結果

29年常総市議会8月定例会議が、8月30日から9月21日までの23日間の日程で開かれました。

今定例会議には、29年度一般会計補正予算を含む議案9件及び決算認定9件を市長が提出。初日の本会議で提案理由の説明があり、後日、議案質疑を行い、各常任委員会、予算特別委員会及び決算特別委員会に付託され、各委員会（分科会）において詳細に審議がなされました。

最終定例日には、市長から追加議案6件（人事案件）、議員提出議案3件（意見書）が提出され、採決の結果、議案11件、認定9件、推薦3件がそれぞれ原案のとおり可決・認定・同意・推薦されました。また、請願2件、陳情2件が採択されました。

審議された主な議案は次のとおりです。

認定第1号 平成28年度常総市一般会計歳入歳出決算認定について

28年度一般会計決算は、293億4484万5611円の収入済額に対し、支出済額は、280億7551万8420円。差し引き残額12億6932万7191円から繰越明許費等を2億4313万円を引いた10億2619万7191円を29年度に繰り越しました。

議案第33号 平成29年度常総市一般会計補正予算（第2号）

この補正予算の総額は、9億6229万3千円の増額。主な内容は、内守谷工業団地内排水路整備事業及び地域防災計画改定支援業務委託料で、事業期間が2カ年に及ぶことから、継続費を設定するものや、来年度から玉学校給食センターの調理等業務を民間事業者へ委託するなどの事業を予算計上しました。

議案第35号 財産の取得について

火災等の各種災害に対応するため、経年劣化した消防ポンプ車2台を計画的に更新するものです。このことにより、市民生活の安心・安全を確保でき、今後も消防体制の充実強化を図ります。